

河川女子（チーム米代）の工事現場レポート ～森吉山ダム堤体巡視～

こんにちは～河川女子（チーム米代）の「こぐま」です。
女性目線&素人目線でわかりやすくお伝えできればと思います。よろしくお願いします！

森吉山ダムでは毎日、現場の巡視点検をしているそうです。今回は9月10日（木）、
堤体巡視作業に同行させてもらい見学してきました。

はじめに堤体の上を歩きながら堤体が崩れているところや亀裂等がないか目視で見っていきます。堤体とのり面の間も重点的に見ていきました。（異常なしです！！）



右の写真が洪水吐です。ダム湖の水が「平常時最高貯水位」を越えると、この洪水吐から水が自然と流れる仕組みになっています。開口部の大きさは3m×3m！大雨が続いた時などは下流に流れる水を少なくして洪水被害を防いでいるんですね。



そしていよいよ監査廊の中へ！

ダム堤体の1番下、地下60mにはダムの変化を観測するための部屋として、コンクリートで作られた監査廊というトンネルを設置しています。監査廊の大きさは、高さ2.5m、幅2.0m、長さ786mです。この中には埋設計器（変位計、浸透流観測）通信設備、照明、ケーブルが入っています。



左の写真は監査廊の壁にできたクラックと呼ばれるヒビです。このクラックは堤体内に8カ所あり、コンクリートなので温度で変化するそうです。（夏は膨張して狭く、冬は広く）正直、堤体にヒビが入って大丈夫？？とってしまいましたが、大きな変動はないので今のところ全く問題ないそうです。クラックの変動を常に点検しているから安心ですね！

監査廊は急な階段やスロープが多くかなり歩くのが大変でしたが、普段運動不足の私にとっては良い運動になりました。（早くも筋肉痛です...）

森吉山ダム管理支援業務 シビル設計のみなさん、点検に同行させていただきありがとうございました！！